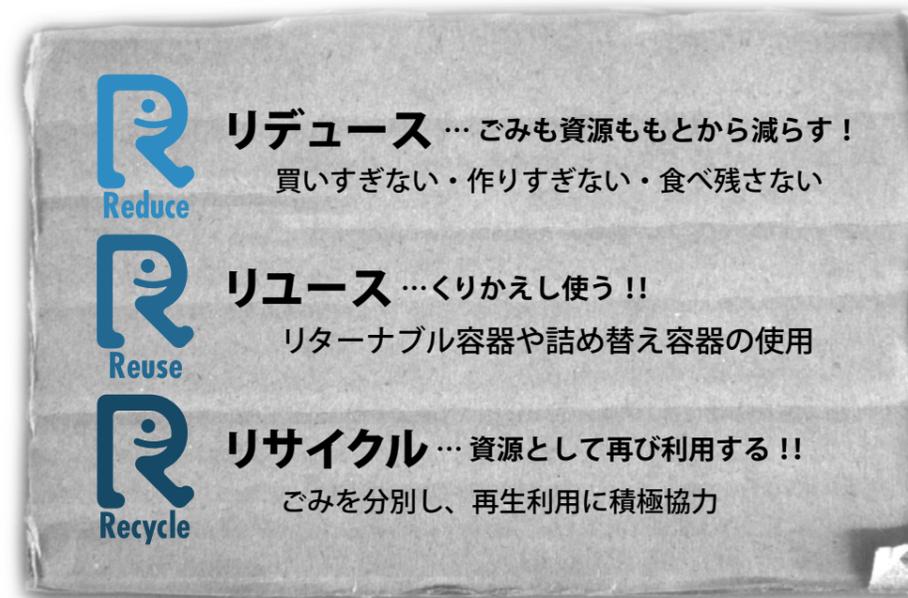


3つの「R」で環境にやさしい社会に



リデュース … ごみも資源ももともと減らす！
買いすぎない・作りすぎない・食べ残さない

リユース … くりかえし使う！！
リターナブル容器や詰め替え容器の使用

リサイクル … 資源として再び利用する！！
ごみを分別し、再生利用に積極協力

毎年10月は『3R推進月間です』。

3Rとは、「**ごみの発生抑制**= Reduce (リデュース)」、「**再使用**= Reuse (リユース)」、「**再資源化**= Recycle (リサイクル)」の3つの言葉の頭文字を取った名称です。

次の世代により良い地球環境を引き継ぐためにも、
ごみの減量とリサイクルにご協力をお願いします。



■長門市リサイクルセンター(写真左上)に集められたビン、缶、ペットボトルは、人の手によって異物を取り除いた後、リサイクル業者に引き渡されます。

環境にやさしい

買い物をしてほしい！

「お買い物はマイバッグで」

日頃からの心がけとして、マイバッグ(袋)をカバンや車の中などにいつも数枚用意しておき、どこでも使えるようにしましょう。また、どここの店でも、レジ袋の受け取りを断りましょう。

どうして「レジ袋」を減らす必要があるの？

- ・ごみが減量できます…マイバッグを持参し、不要なレジ袋を断ることで、無駄に捨てられるごみの量を減らすことができます
- ・石油資源の消費が抑制できます…レジ袋を減らすことで、貴重な資源である石油を大事に使うことができます
- ・地球温暖化防止につながります…レジ袋の生産・焼却により発生するCO₂を減らすことができます
- ・使い捨てライフの変革…レジ袋削減の取組は、「使い捨てライフスタイル」から「もったいないの心」を大切にするライフスタイル(エコライフ)へ見直すきっかけとなります

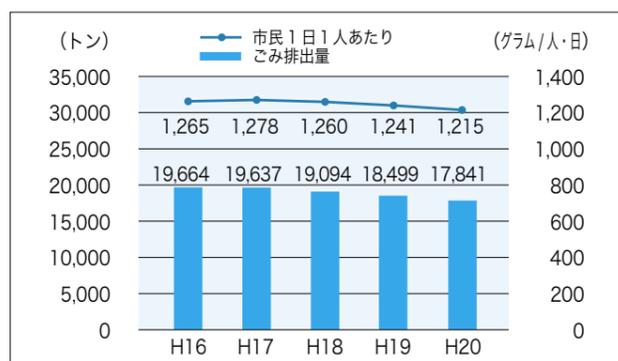
■山口県内の実績と効果

項目	実績 (4～6月平均)	
レジ袋辞退率 [目標: 80%以上]	89.3%	
効果	レジ袋の削減枚数(万枚/月)	1,048万枚
	ごみの減量化(トン/月)	104.8トン
	石油の消費抑制(kl/月) (ドラム缶換算)	191kl (959.6本)
	CO ₂ の排出抑制(トンCO ₂ /月) (月あたりの世帯排出量に換算)	629トンCO ₂ (1,410世帯)

長門市内でも、食品スーパーを中心に4月からレジ袋の無料配布が中止され、約9割の人がマイバッグを持参されています。
買い物の際は、マイバッグを持参して少しでも「ごみとなるものをつくらない・売らない」ようにするよう心がけましょう。



■長門市のごみ排出量



長門市のごみの現状

市民の皆さんのご協力で、平成16年度から4年連続でごみ排出量は減っています。また、資源化量は5,241トンで、排出量に占める割合(リサイクル率)は約29%となっています。
しかし依然として、可燃・不燃ごみの中にはビン・缶・ペットボトルなど、資源としてリサイクルできるものが数多く含まれています。環境を守るため、より一層の分別の徹底にご協力ください。

ごみ処理の流れ

- ・可燃ごみ…清掃工場焼却処理し、焼却灰はセメント原料として利用します
- ・不燃ごみ・粗大ごみ…粗大ごみ処理施設で、資源物、可燃残渣、不燃残渣に選別し、再資源化、焼却処理、埋立処分を行います
- ・資源ごみ…リサイクルセンター等で選別、圧縮、梱包などを行い再資源化します

生ごみ処理機・コンポスト

容器の購入費補助金

生ごみの減量化・再資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入費補助制度があります。

申請は、本庁生活環境課、各支所総合窓口課で随時受け付けていますのでご利用ください。(※購入される前に、必ず生活環境課に確認の電話をお願いします)

問い合わせ

生活環境課 廃棄物対策係

TEL 23-1249

■ごみの直接搬入に関する事
長門市清掃工場

TEL 25-3230